

文政6年の三方領知替と藩士の記録

文政6年(1823)3月24日、江戸城で忍藩主阿部正権(まほろ)が白河へ、白河藩主松平定永(さだなが)(松平越中守家)が桑名へ、桑名藩主松平忠堯(ただたか)(松平下総守家)が忍へ転封となる。三方領知替が発令されました。松平越中守家は房総半島沿岸警備の費用が藩財政の負担となっており、白河からの転封を幕府へ働きかけていました。阿部家でも当主正権が病弱で藩主の重責を果たせず、藩内も混乱していました。これら松平越中守家と阿部家の事情から、松平下総守家を交えての転封が行われたと考えられます。

忍城・桑名城・小峰城の受け渡しが行われたのは9月27・28日であることから、準備に半年かかったことが分かります。その間の出来事を記録した史料が各地に残されています。写真の「諸事公私覚書」は台所奉行を勤めていた松平下総守家家臣の奥平十郎左衛門が転封の準備内容を



諸事公私覚書(郷土博物館蔵)

記したもので、藩主の江戸城呼び出しに始まり、6月中旬までの出来事が記録されています。

発令後最初に出された通達は、屋敷の竹木・飛石を荒らすな、火の用心に注意し、博打をするな、屋敷の部屋数などを調べておけといったもので、急な転封のため何を準備してよいか分からず、とりあえず思いついたことを伝えたと考えられます。4月21日には家臣の家族や使用人の人数・性別などの調査が行われ、29日には船便で運ぶ家臣の武器・武具類の品名と数量の提出が命じられました。5月に入ると、忍城受け取り・桑名城引き渡しを担当する家臣が順次発表されていきます。

また、城や領地は幕府から拝領しているため、転封に際しては一度幕府に返して、改めて拝領することとなります。そのため、城の受け渡しには幕府から派遣される旗本が上使として立ち会います。その上使が5月末に発表となりました。上使との調整は江戸藩邸の藩士が担当することになります。3カ月ほどの記録ですが、このようにさまざまな調整や準備が行われ、松平下総守家にとって113年ぶりの転封の準備が進められていったのでした。

(郷土博物館 鈴木紀三雄)

はじめまして

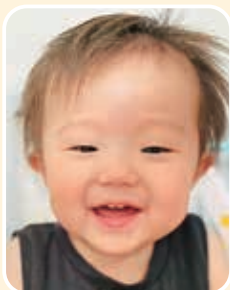


令和4年11月生まれのお子さんを募集します

- 9月1日(金)～29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課(内線322) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、10月2日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和4年9月生まれのおともだち



田中 紗斗ちゃん(中江袋)
令和4年9月12日生まれ
父・恵介さん 母・杏奈さん
「紗斗にたくさん幸せが訪れますように!」



吉岡 寿々和ちゃん(南河原)
令和4年9月24日生まれ
父・寿人さん 母・佑子さん
「我が家の宝♡」



工藤 新太ちゃん(棚田町)
令和4年9月22日生まれ
父・翔太さん 母・沙弥加さん
「毎日幸せの連続!! 大好きだよ♡」



橋本 那月ちゃん(西新町)
令和4年9月9日生まれ
父・裕さん 母・綾香さん
「癒しパワー100% いつでも笑顔」



坂田 篤彦ちゃん(持田)
令和4年9月26日生まれ
父・頼彦さん 母・和子さん
「元気に運しく 大きくなってね!」



小川 惺風ちゃん(埼玉)
令和4年9月12日生まれ
父・博之さん 母・真季さん
「笑顔がかわいい 我が家のアイドル♡」

今月の表紙

江戸時代に忍藩(現:行田市)、桑名藩(現:三重県桑名市)、白河藩(現:福島県白河市)は、幕府の命令により玉突き状態で国替えを行いました。これがいわゆる「三方領知替」です。

三方領知替から今年でちょうど200年。この100年に一度の記念すべき年を盛り上げるため、市ではさまざまな取り組みを行っています。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>

IGZO GYODA PROJECT

市職員によるプロジェクトチーム「IGZO GYODA」では、動画を作成し、本市のさまざまな魅力をYouTube「ぎょうだ動画チャンネル」で配信しています。ぜひご覧ください。



環境にやさしい 植物油インク